

2019年度 第17回 福岡県細胞診研修会 症例検討

体腔液

公立八女総合病院 臨床検査科

○村上 勇二

症 例

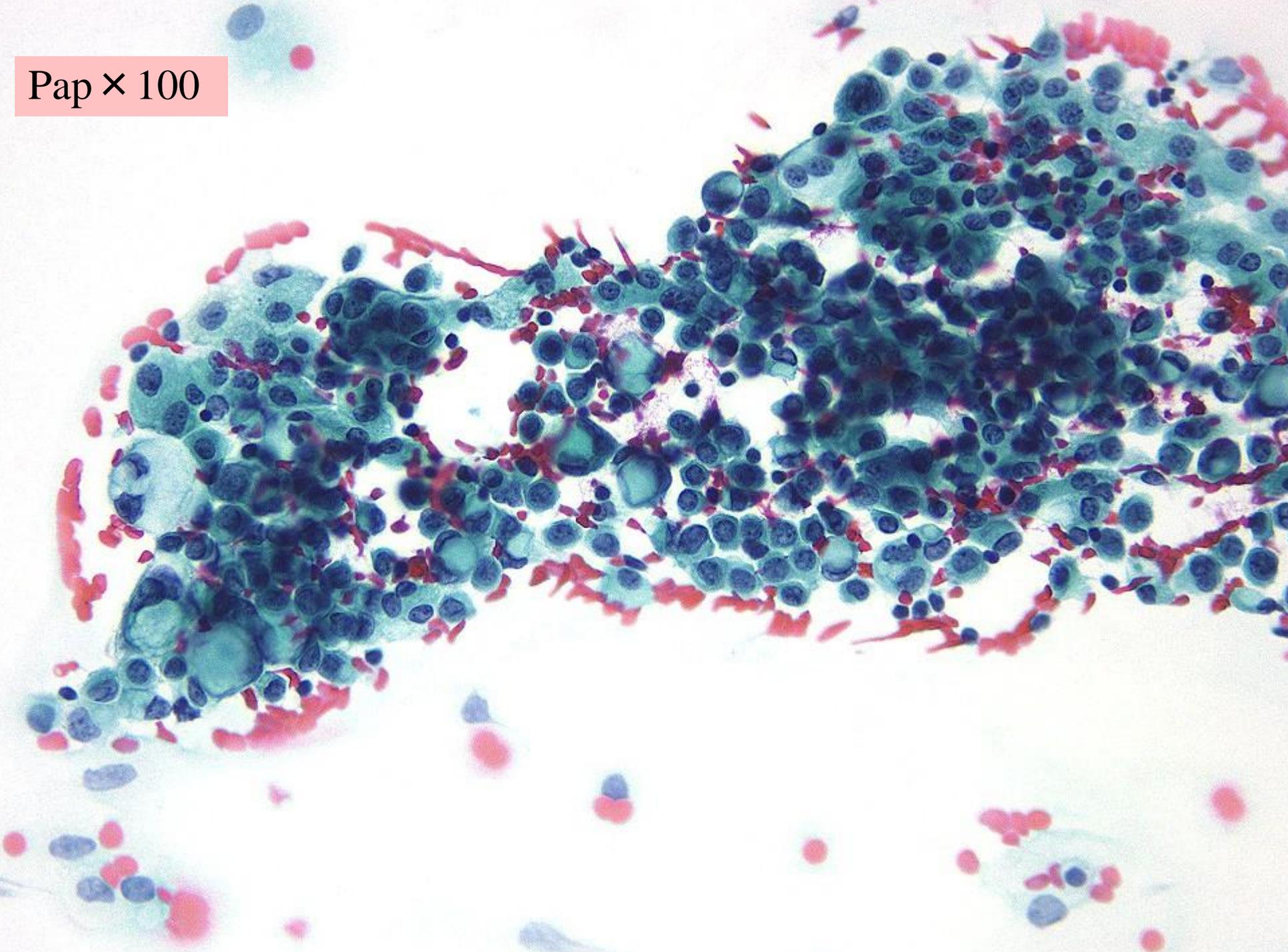
患 者： 40歳代 女性

採取検体： 腹水

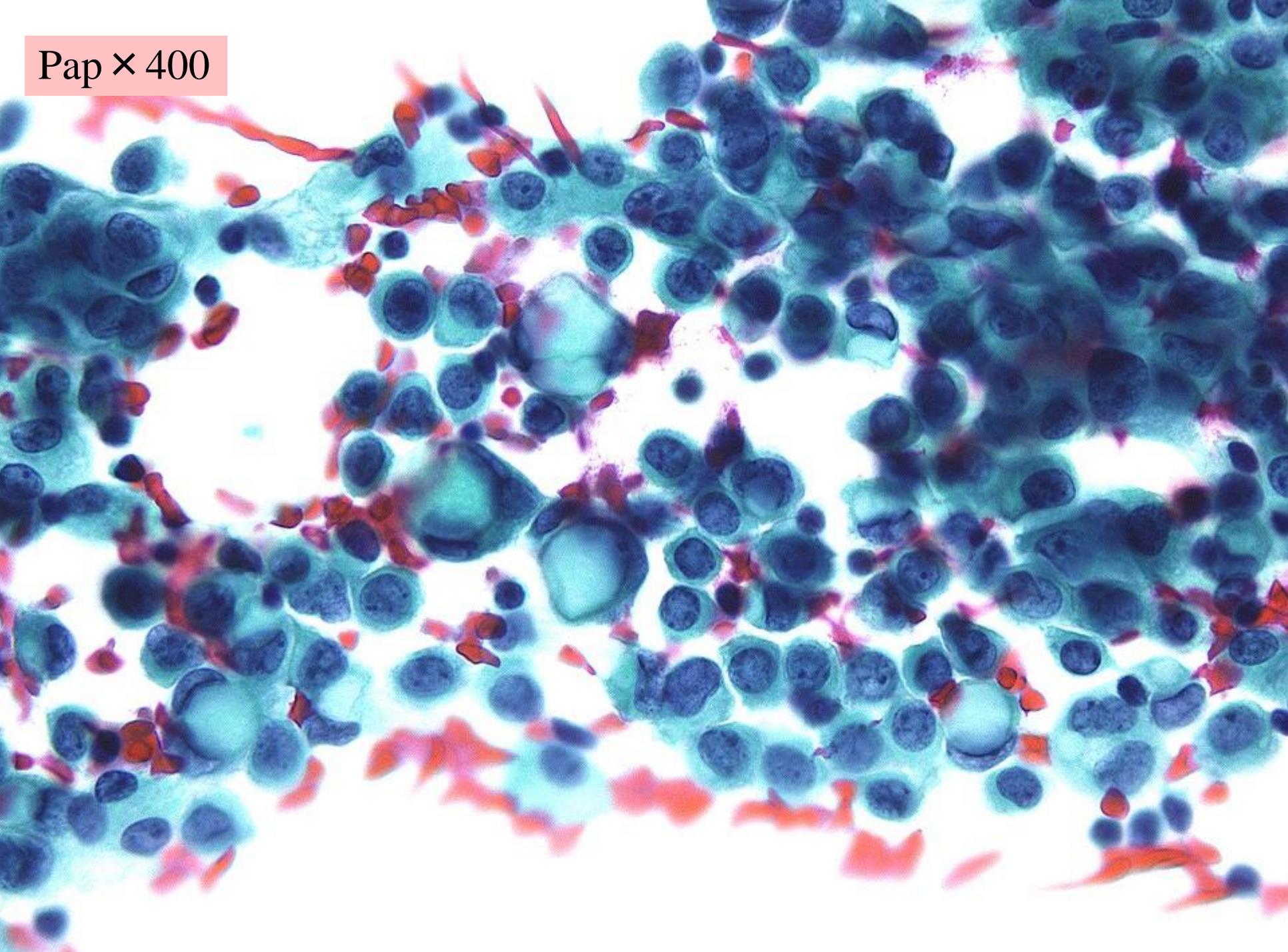
主 訴： 便秘、腹痛

現病歴： 便秘症状・腹痛にて外来受診。
卵巣腫大や腹水を認めCT施行。
原発性卵巣癌を疑うが転移性卵巣癌も鑑別に
あがるため内科、婦人科を受診。
胃の内視鏡生検および卵巣摘出術施行。

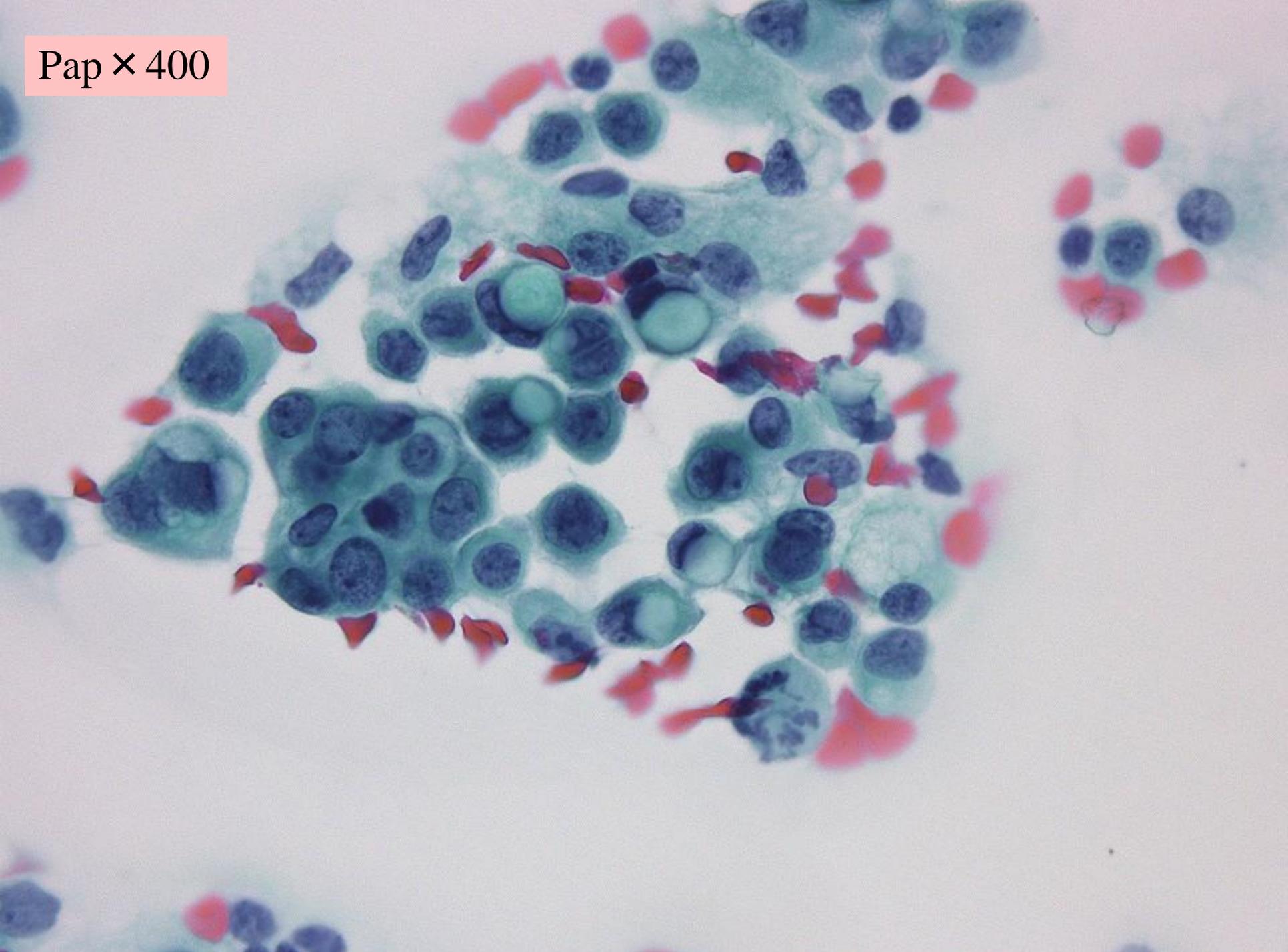
Pap × 100



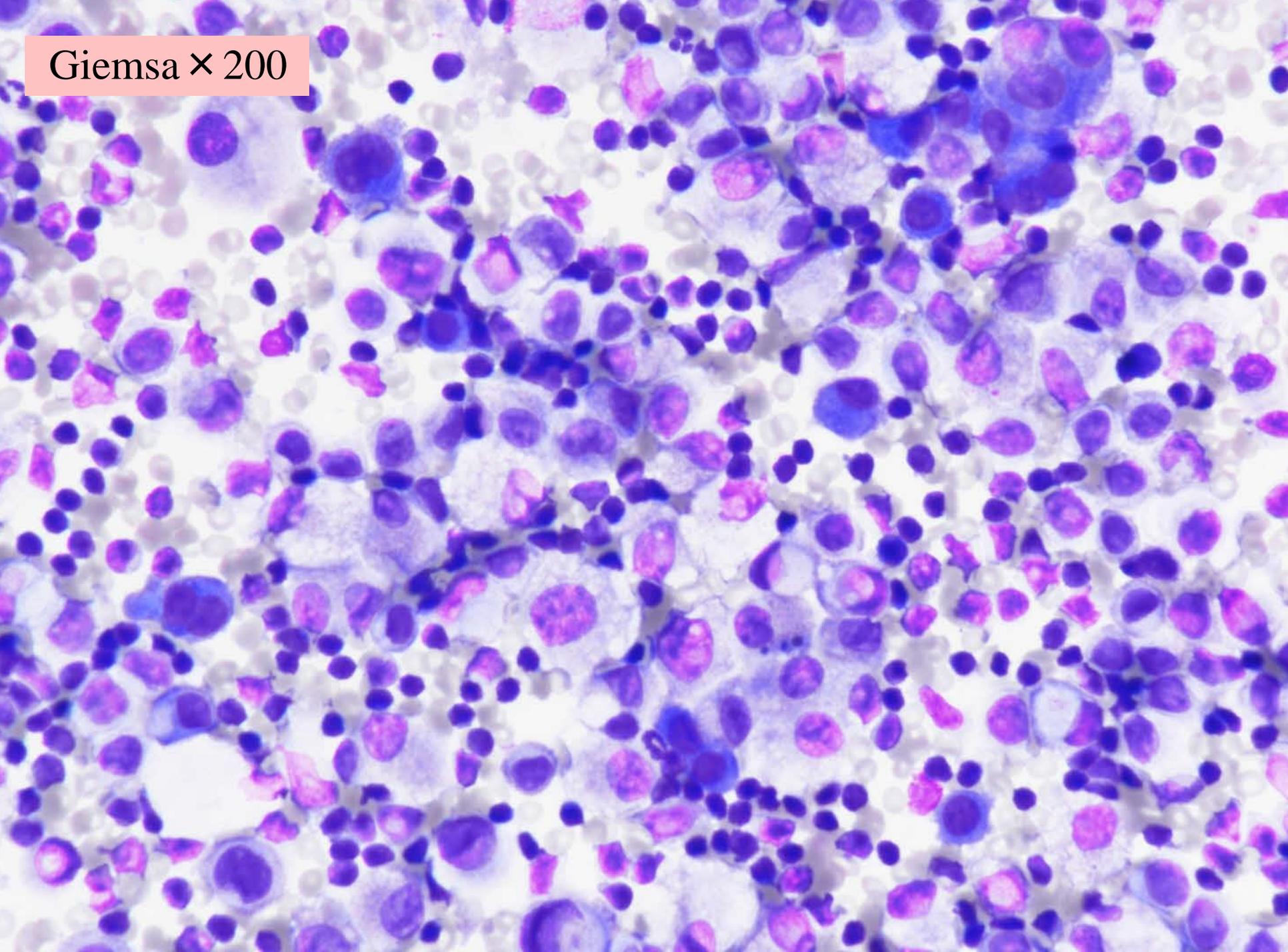
Pap × 400



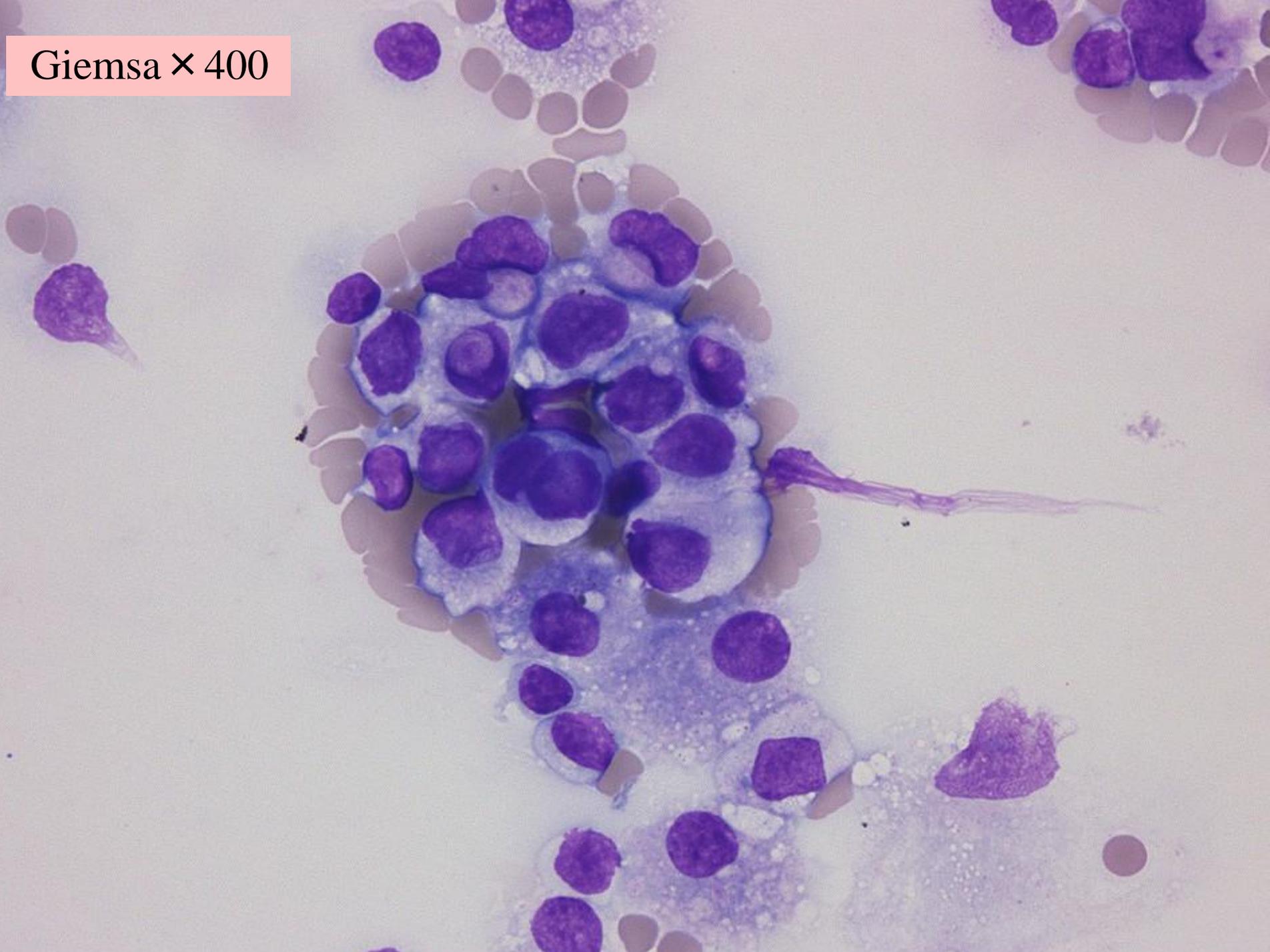
Pap × 400



Giemsa $\times 200$



Giemsa × 400



体腔液：選択肢

- ① 反応性中皮
 - ② 悪性中皮腫
 - ③ 卵巣癌の転移(低分化)
 - ④ 胃癌の転移(印環細胞癌)
 - ⑤ 乳癌の転移(小葉癌)
-